

## 全面通行止めを伴う第三者対応について

三島地区  
加和太建設株式会社  
現場代理人 深澤和也  
CPDS 番号 292396

### 1. 工事概要

工事名 : (都) 三島駅北口線道路改良工事  
発注者 : 静岡県 三島市  
工事箇所 : 静岡県三島市幸原町2丁目地内  
工期 : 令和4年8月11日～令和5年3月24日  
工事内容 : 土工 1式、構造物取壊し工 1式、舗装工 1式、  
排水構造物工 1式、付帯工 1式、仮設工 1式

### 2. はじめに

本工事は三島駅北口線の取付道路の道路整備、及び三島駅北口線、谷田幸原線、池田柵線の交差点の接続を行う工事です。

施工位置



### 3.現場における問題点

#### ① 地域住民への配慮

- ・施工を行う取付道路は狭い道路でしたが、多くの地域住民が頻繁に利用していました。また、地域住民の通勤・通学路として頻繁に利用されていました。
- ・交差点部は施工前「三島駅北口線」と「池田終線」を結ぶ一本道となっており、交通量が多く全面通行止めを行う際、地域への影響が大きいと予想されていました。

#### ② 限られた期間での施工

- ・交差点部は全面通行止めを行うため影響が大きく、規制期間を10日間という限られた日数で行う必要がありました。また施工後すぐに開通式が行われる予定であったため、施工の遅れは許されませんでした。
- ・交通規制期間が土曜日曜を含む形となっていました。アスファルト殻の搬出と舗装作業は土曜日曜に行う予定となっており、プラント工場が止まっている日に行わなければなりません。

#### ③ 開通前に行わなければいけない施工

- ・設計には入っていませんでしたが追加工事は開通後に施工を行うと交通規制を伴ってしまう箇所があり、開通前に施工を行う必要がありました。

### 4.対応策・改善点と適用結果

#### ① 地域住民への配慮

##### I.地域住民へのビラ配り

取付道路部の施工にあたり、施工前に影響範囲（付近の60世帯ほど）のお宅に直接挨拶を行いました。また、工事説明資料を配布させてもらい工事へのご理解とご協力を得ることが出来ました。

施工中には影響範囲へ「工程・進捗、危険箇所、ご協力点等々」を記載したビラを毎週末配り、情報共有をこまめに行うことで工事への理解、協力を得ることができるよう努めました。

##### II.歩行者・自転車専用通路の確保

取付道路が地域住民の通学・通勤路として頻繁に使用されていることから、完全に全面通行止めにするのではなく歩行者・自転車用の通路を設け、また現場状況に合わせて無理のない範囲で作業を止めながら第三者を優先することで、できる限り地域住民への

施工による悪影響を小さくするよう努めました。

また、作業開始時間を通学・通勤時間をさけるように遅らせ、8:30から作業を開始するよう配慮しました。

### III.各機関への早めの広報

交差点部の施工にあたり三島市と協力し、施工する道を利用する路線バスや大型車両を迂回してもらうよう2か月前から行政広報の力を借り、現場だけでは対応することのできない大型車を迂回させることが出来ました。そのため規制時の交通をできる限りスムーズにすることが出来ました。

以上を行うことにより、近隣から苦情が出ることなく友好的な関係を作ることが出来ました。

## ② 限られた期間での施工

### I.協力会社への早め相談

開通式の日程が決まっているため日程変更が不可能な状況で、アスファルト殻の受け入れ、アスファルト合材の出荷をする工場に3か月前から相談・協力をお願いをし、協力を得ることが出来たことで、搬出、舗設作業を問題なく施工することができました。また、碎石等々の他資材も前もって早めに連絡することで、待ち時間などの無駄がない工程通りの施工を行うことが出来ました。

## ③ 開通前に行わなければいけない施工

I.年末年始で施工業者がつかまりにくいなか、報告をもらい次第すぐに対応することが出来たため、開通前に施工完了できました。

また、他に追加工事がないか三島市と打ち合わせし、出来るものは早めに対応していくことが出来ました。

## 5.おわりに

本工事は三島駅北口線の開通となる工事でした。開通に際し、規制等近隣住民の方への影響が大きく、地域住民の方々の工事へのご理解・ご協力が必要不可欠だと改めて感じました。理解と協力を得るためには影響が小さくなるような要望に応える姿勢や日々のコミュニケーション、情報連絡等すこしでも近隣住民の方の不安要素を無くことが一番大事だと感じました。

また、少しでも早く工事を完成させ地域への影響を少なくすることが重要だと感じまし

た。そのため日々の工程・資材の搬入調整・施工手順等々を詰め、スムーズな現場運営を行っていきたいと思います。